

廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

平成19年10月 山梨県森林環境部環境整備課

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

1 アンケート調査の実施時期

平成19年6月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	357人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	108人
合 計		465人

3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	318人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	88人
合 計		406人

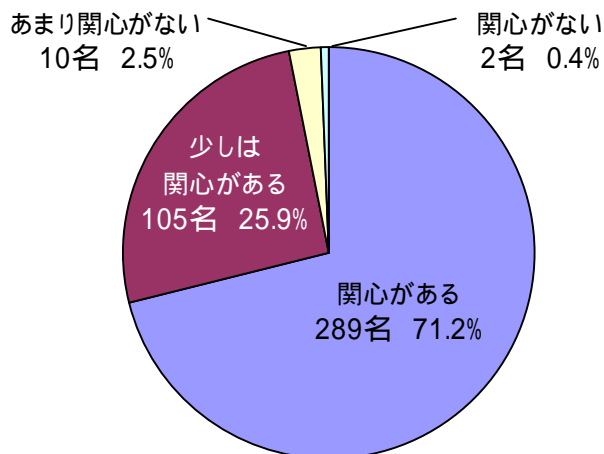
回 答 率 **87.3%**

4 集計結果

廃棄物（ごみ）に関すること

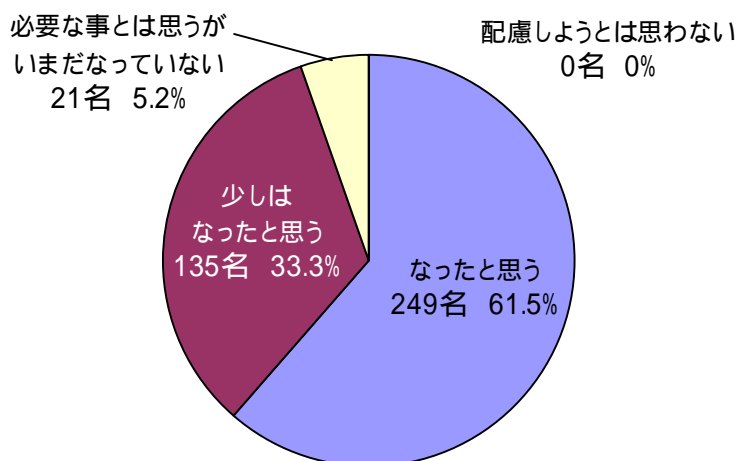
【問1】日常生活において、ごみ問題について関心がありますか？（回答者：406名）

「関心がある」、「少し関心がある」という回答が、97.1%でした。



【問2】ごみをなるべく少なくしたり、リサイクルに回すなど、最近のご自身の生活が環境に配慮するようになったと思いますか？（回答者：405名）

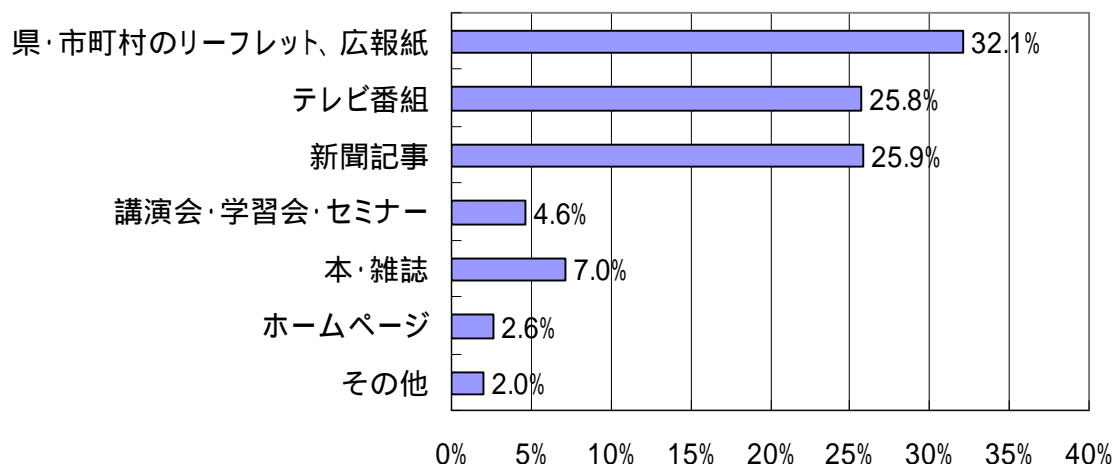
「なったと思う」、「少しは、なったと思う」という回答が、94.8%でした。



【問3】ごみ問題の情報、知識はどこから入手していますか？ 三つまでお選びください。

(回答数：1044)

「県、市町村のリーフレット、広報紙」が32.1%、「テレビ番組」「新聞記事のメディア」が51.7%でした。

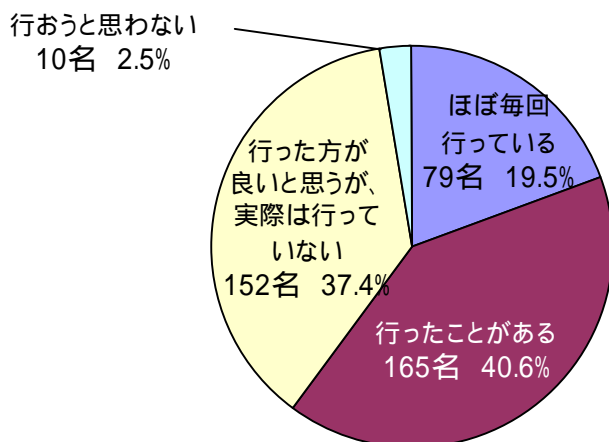


ごみ減量化の取り組みについて

【問4】ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？

(回答者：406名)

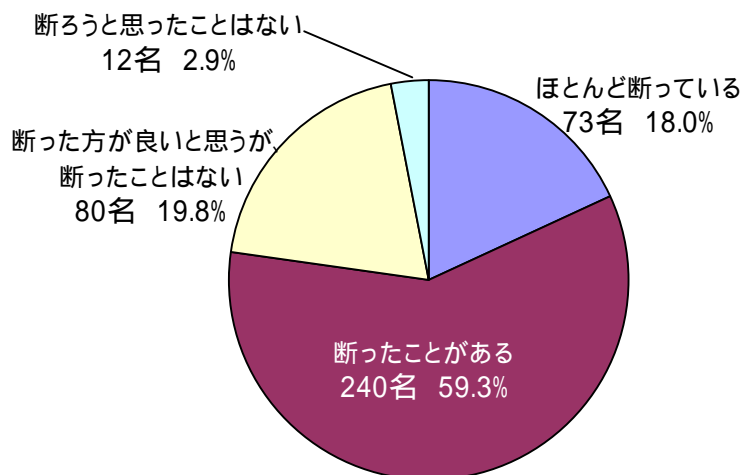
「ほぼ毎回行っている」「行ったことがある」という回答が、60.1%でした。一方、37.4%の人が「行った方がよいと思うが、実際は行っていない」という回答でした。



【問5】ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装を断っていますか？

(回答者：405名)

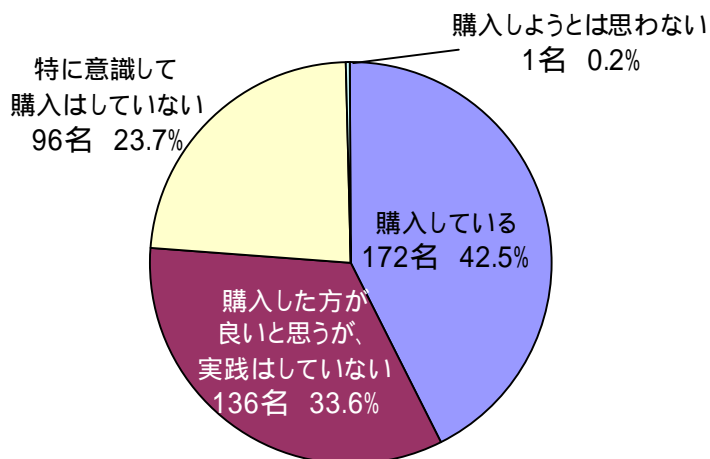
「ほとんど断っている」「断ったことがある」という回答が、77.3%でした。一方、19.8%の人が「断った方が良いと思うが、断ったことはない」という回答でした。



【問6】あなたは商品を購入するとき、包装されていないなどの、ごみが少なくなる商品や、長期間使用できる商品(使い捨て商品でないもの)を選んで購入していますか？

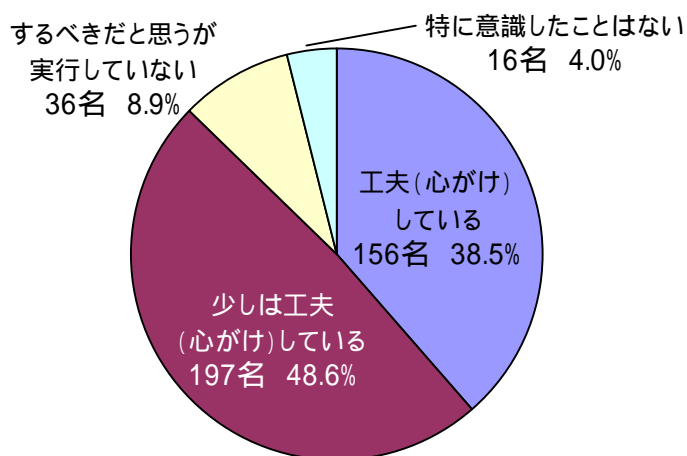
(回答者：405名)

「購入している」という回答が、42.5%でした。一方、33.6%の人が「購入した方が良く、実践はしていない」という回答でした。



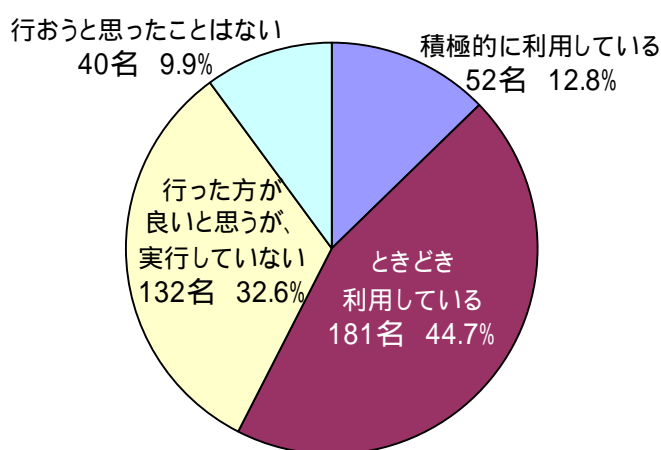
【問7】残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫していますか？（回答者：405名）

「心がけている」「少しは心がけている」という回答が、87.1%でした。



【問8】一時的に必要な物については、レンタルなどの利用やリユース品(中古品)の購入などを行っていますか？（回答者：405名）

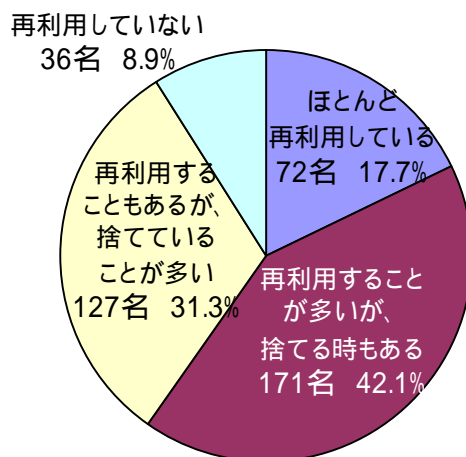
「積極的に利用している」「ときどき利用している」という回答が、57.5%でした。一方、32.6%の人が「行った方が良いと思うが、実行していない」という回答でした。



【問9】古着などは捨てずに、資源物の回収や、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？（回答者：406名）

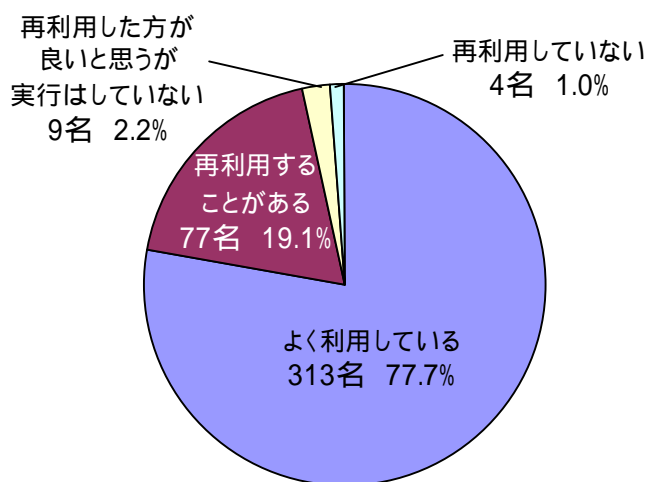
「ほとんど再利用している」「再利用することが多いが捨てる時もある」という回答が、59.8%でした。

一方、31.3%の人が「再利用することもあるが、捨てていることが多い」という回答でした。



【問10】洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用(リユース)をしていますか？（回答者：403名）

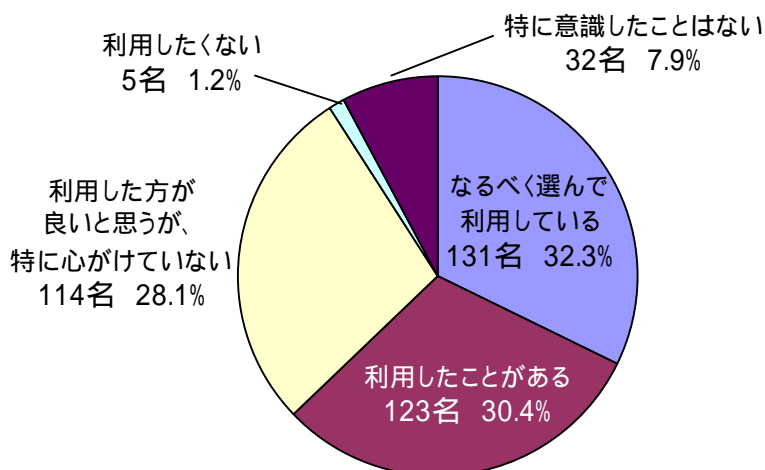
「よく再利用している」「再利用することがある」という回答が、96.8%でした。



【問 1 1】ビン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きピンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？
（回答者：405名）

「なるべく選んで利用している」「利用したことがある」という回答が、62.7%でした。

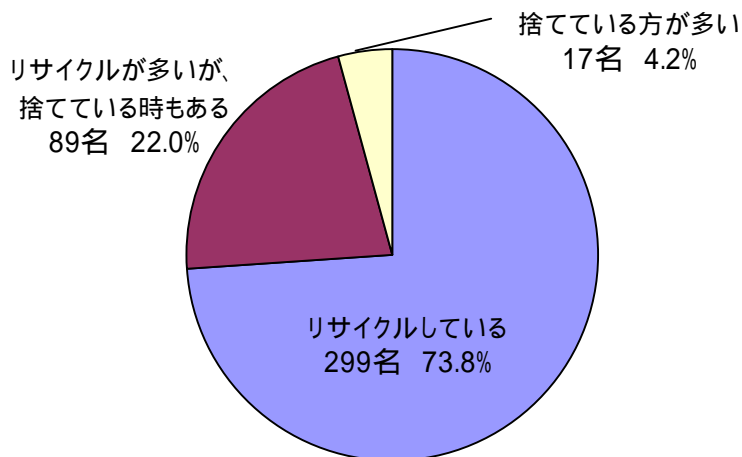
一方、28.1%の人が「利用した方が良いと思うが、特に心がけていない」という回答でした。



リサイクルについて

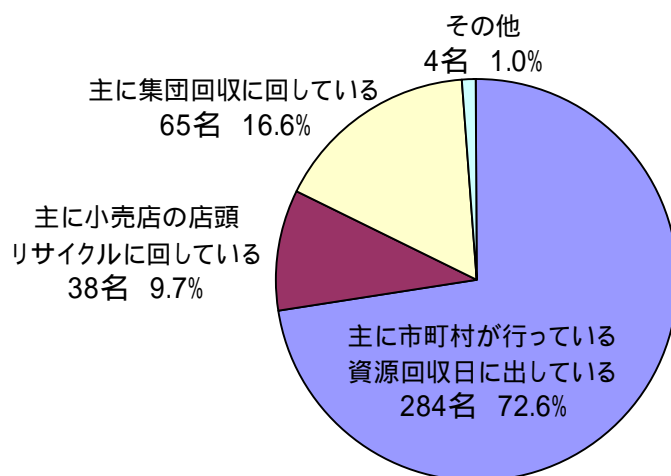
【問 1 2】ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（回答者：405名）

「リサイクルしている」「リサイクルが多いが捨てている時もある」という回答が、95.8%でした。



【問13】問12で「ア」又は「イ」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（回答者：391名）

「主に市町村の資源物回収日に出している」という回答が、72.6%でした。



【問14】エコマーク（環境マーク）など、環境にやさしい商品であることを表すマーク（いわゆる環境ラベル）の入った商品を購入していますか？（例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など）

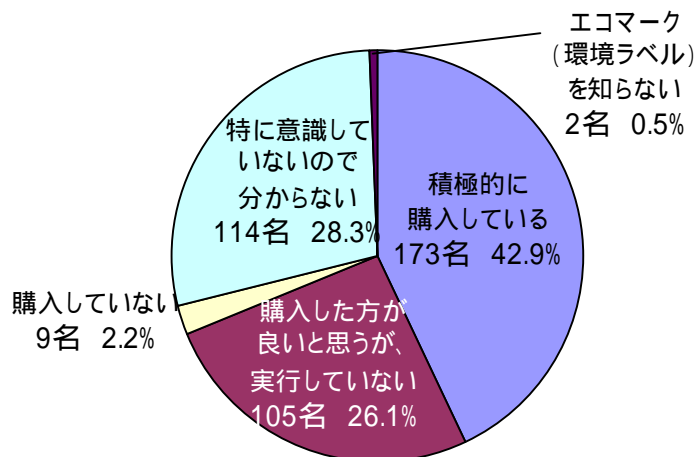
（回答者：403名）

環境ラベル 一例)



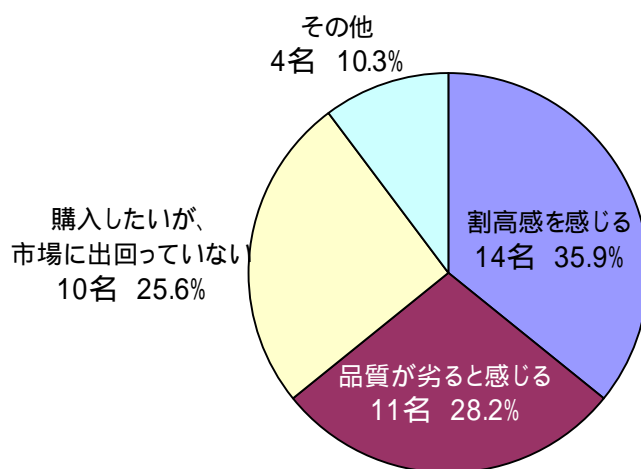
「積極的に購入している」という回答が、42.9%でした。

一方、「購入した方が良いと思うが、実行していない」「購入していない」という回答は、28.3%、「特に意識していないので分からない」という回答が、28.3%でした。



【問15】問14で「環境にやさしい商品を購入していない。」を選択された方はその理由を一つ選んでお答え下さい。（回答者：39名）

「購入していない」と回答した人以外の回答も含む。

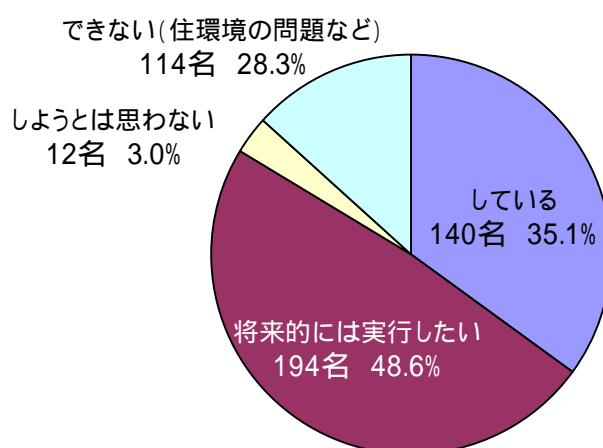


生ごみの処理方法について

【問16】生ごみを減量化（乾燥など）及び堆肥化等のリサイクルをしていますか？

（回答者：399名）

「している」「将来的には実行したい」という回答が、83.7%でした。一方、「できない（住環境の問題）」という回答も、28.3%あった。



その他

【問17】生ごみを減らしていくにあたって、新たな具体的な取り組み等何かご意見をお持ちですか？

主なご意見

- ・県民一人一人の意識を変える。
- ・生ごみ処理機への補助制度の充実や、機械のレンタル。
- ・こまめに買い物に行き、食材の大量購入をしない。
- ・調理するときは、作りすぎない。
- ・「EMボカシ」などを上手く利用して、生ごみを堆肥化する。
- ・自治体や農協等が中心となって生ごみを回収し、堆肥化施設等で堆肥化し、農家へ安く提供する。
- ・団地やマンション、自治会単位で生ごみを堆肥化・乾燥化する設備を設置する。
- ・各家庭の生ごみ処理機で作られた堆肥や乾燥物を回収するシステムを構築する。
- ・どのような居住環境（マンションなど）でも生ごみの堆肥化（減量化）できるようにする。
- ・生ごみを出すときは、良く水を切って出す。
- ・「賞味期限切れ」や「食べ残し」など、廃棄される食品を減らす。

など

【問18】ごみを減らしていくにあたって、新たな取り組み等何かご意見をお持ちですか？

主なご意見

- ・県民一人一人の意識を変える。
- ・必要以上に何でもトレイに入っていると思うので、販売方法を改善する。
- ・小さい頃から家庭や学校で、ごみ問題などの環境教育をしっかりとる。
- ・地域でも努力しているところには、補助金とか表彰賞金をして具体的に推進する。
- ・裏紙の使用、牛乳パックの回収など、一人一人が資源を無駄にしないように工夫していく。
- ・ゴミになる要素が多すぎる社会なので、国全体で対策を打たないといけない。
- ・全ての容器をリサイクル可能なものにする。
- ・電化製品など気軽に修理できる体制を構築する。
- ・加工食品など容器（パック）を使わず、各個人が容器を持参して購入するようなシステムを広める。
- ・マイバック等の普及を図る。
- ・各自治会で責任者を養成し、ごみの分別などごみの出し方を徹底する。
- ・ごみ減らし努力賞など、マスコミを活用して取り組みを紹介する。

など

【問19】リサイクルを今後さらに進めるために、新たな取り組み等何かご意見をお持ちですか？

主なご意見

- ・資源物として集められたものがどのような行程を経て、どのようにリサイクルされていくのかリサイクルの仕組みが分かれば、もっと身近になる。
- ・資源物の回収日をもっと増やす。
- ・いつでも出せるリサイクルボックスを増設し、気軽にリサイクルできるようにする。
- ・現在行われている自動車、大型電気製品の他全ての電気製品、寝具、家具等のリサイクル処分費用を価格に転嫁し、メーカーによるリサイクル回収を徹底させる。
- ・分別区分を見直す。(もっと細かく設定する。)
- ・フリーマーケットなどをもっと頻繁に開催したり、気軽に出店できるようにする。
- ・包装容器を再利用する。(商品容器の高級化。容器の買い取り、デポジット制)
- ・市町村ごとにリサイクル率の目標値を定め、競い合う。
- ・小さい頃から家庭や学校で、リサイクルについて教育する。
- ・各自治会で責任者を養成し、ごみの分別などごみの出し方を徹底する。
- ・現在、市町村によって分別がバラバラなので、先進的な市町村をモデルに、将来、全県で統一していく。
- ・リサイクル可能な商品には減税し、非リサイクル商品は増税する環境税を導入する。
- ・リサイクルできる物とできない物の区別が簡単にできると良いと思う。(わかりづらい物はついつい可燃物に出してしまう。)
- ・自治会などの会合で取りあげてもらおうよう行政の方から指導をして、住民の意識を向上させる。

など